

● 南中学校跡地について（抜粋）

土井：現在南中跡地の敷地内に雑草が生い茂っているが次の用途が決まるまではそのまま放っておくつもりですか？

行政：定期的な巡回及び草刈りを実施したいと考える。

土井：南野の住民にとっては愛着のある土地になりますのできっちりとした対応をお願いします。

土井：活断層の調査費用1738万円を掛けて調査した理由を教えてください。

行政：南中敷地内に国土地理院発行の都市圏活断層図に載っている活断層の位置を特定する為にその費用を掛けたという事。

土井：それが南中学校の休校した理由だと考えても良いですか？

行政：端的に言いますと活断層を調査するために子供たちが真横でその実態を可視化できる状態を避けるための今回の措置だと考える。

土井：前教育長が活断層調査結果にかかる学識経験者の見解から判断しても活断層のある土地でたとえ何m避けたとしても校舎を建てるべきではないと考えます。と総合教育会議の中で発言されていますが先の答弁を踏まえなぜ南中学校跡地に市民総合センターを立てても良いという理由になるのか教えてください。

行政：前教育長の発言は学校を預かるものの発言と理解しておりますけど過去の知見を活用しながら活断層から一定の離隔距離及び土砂災害警戒区域から離れた場所でより耐震性を確保すれば建築が可能という判断に至った。

土井：私たちが頂いている専門家の意見にはそのような記述は無いと思いますが…

行政：平成30年10月25日、26日に防災工学の教授と建築工学の教授に意見を伺いに行った。

土井一慶の主張

現存の南中学校校舎は断層帯から18m離れておりかつ、耐震補強時のIS値が0.7以上あるので現存の校舎についても利活用可能と示されていた事に驚きました。前教育長の発言は何だったのか？その内容を統廃合の議論のテーブルに乗らなかった事は非常に残念ですし、なぜ公共施設再編の議論の中、今頃になって示されたのか？行政の対応には疑問を感じます。

● 団体事務の見直しについて（抜粋）

土井：行財政改革を前へ進めていくためにはやはり断行する側も覚悟を見せる必要があると思います。副市長や教育長の報酬や退職金に関しても前任者より上がっている。やはりそういう所を市民の皆さんは見ておられる。市民に負担を求めるのであればお願いする側がぬるま湯に浸かっていたら絶対ダメだと思います。その中で市長は市長選の時には退職金全額カットを行うとお約束をされていましたが、いまだに条例を変更していない理由を教えてください。

市長：着任時予算編成や市政全般の課題などで忙しくまだ条例変更できていない。

● 10月2日からの常任委員会で質問

土井：権現川ハイキングコースが今年の台風21号による倒木やハイキング道の傷みは本市としてはどういった対応を行うのですか？

行政：倒木に関しては森林環境税を利用して大阪府が対応してくれると聞いている。ハイキング道の修復に関しては倒木の処理が終わった後に市が対応する。

土井：四條畷と言えれば自然。自然を活かしたまちづくりを行う為にも早急な対応をお願いします。



● 四条畷駅西側コインパーキング

市民の皆さまに大変ご不便をおかけしておりました四条畷駅西側のコインパーキングが令和元年9月28日より再開しています。令和2年9月末までは駐車区画数は56台ですが令和2年10月以降は駐車区画数が減少する予定です。コイン



パーキングが閉鎖している間、他のコインパーキングが満車で駐車するのに交通渋滞まで引き起こしていました。その為、市民の方が他市へ買い物に行ってしまうなど商店街活性化とは逆行するような事態が続いていました。現在、将来の利用用途なども議論していますがこの駐車場が閉鎖したら商店街活性化へ大きな影響を与えると思うので行政は対応を慎重に考えるべきだと考えます。